

～保育士が働きやすい職場づくりに向けた取り組み 好実践事例～

★CASE 2★

たちばな保育園(出雲市)

【保育園DATA】

- 所在地：出雲市大津町1409-3
- 法人名：社会福祉法人慈潤会
- 定員：200名
※平成27年11月17日時点で
在籍数210名
- 職員構成（保育士）
 - ・正規職員23名
 - ・パート職員11名



○園長 堀江泰誠先生が大切にしていること

保育は継承していくもの！！

☆堀江泰誠先生の略歴☆

- ・福祉系大学を卒業後、医療ソーシャルワーカー、精神保健福祉士として病院相談業務に従事。併せて、介護支援専門員として院内支援事業所を設立、管理者として従事。
- ・平成15年に副園長としてたちばな保育園に入職。平成18年より園長。平成26年より法人理事長。

保育士がいきいきと働く環境を整備するために

○保育を継承していくために

「職員の定着のために、保護者から選ばれる保育園になるために、そして何より子どもの幸せを実現するために、保育の質を向上することは常に忘れてはいけないと考えています。その実現には、保育士一人一人がプロとしてのプライドを持つこと、また、そのプライドが引き継がれていくことが必要だと考えます。『保育は継承していく』ことが重要なのです。」

こう話す堀江先生が、その信念を実現するべく取り組んだのが、職員の段階的評価制度の制定です。たちばな保育園では以下の役職が設けられ、役職に応じた給与待遇が設定されています。また各役職への登用は、定められた評価基準に基づいて行われています。

- ①園長 ②副園長 ③主任（1名） ④教務主任（0～2歳児担当1名、3～5歳児担当1名） ⑤チーフ級保育士（年齢ごとの総括、責任をもつ） ⑥保育士（クラス担任含む）

「『保育を継承していく』ためには“安定した雇用”が必要となりますが、そのためには“安定した経営”を維持していくことが必要です。法人経営の安定化を図る上で必要不可欠と考え評価制度を制定しましたが、当初は職員からの様々な意見もありましたし、9年ほどたった現在でも、評価基準は見直しを続けています。制度の完成には、まだ時間が必要だと考えています。」

こう話す堀江先生からは、困難な事柄にも信念に従い継続して取り組む、強い意思が伝わってきます。

たちばな保育園での取り組み紹介①「職員属性ごとの意見交換会の実施」

たちばな保育園では、日々の業務に関する気づきや課題を共有し、より良い保育につなげていくことを目的とした、職種別（保育士は担当年齢別）・雇用形態別での意見交換会を定期的の実施しています。毎回1つのテーマについて同じ立場の職員が議論をすることにより、小さな気づきも見逃さず共有することができます。（例：テーマ「嫌いなものって食べるべき？」「新しい保育制度ってどうなの？」）

また、各意見交換会には園長と主任保育士が参加し、現場の課題を把握するとともに、園としての『思い』も伝えるなど、園全体で一体となるための基礎としての活用も行われています。

日々の積み重ねを大事にする、たちばな保育園の姿勢をよく表す取り組みと言えるのではないのでしょうか。

たちばな保育園での取り組み紹介②「“お姉さん制度”の実施」

たちばな保育園では、新人（特に新卒）の保育士への指導担当として、ベテランの保育士の他に、入職2～3年目の保育士を配置する“お姉さん制度”を5年前から実施しています。この“お姉さん”保育士は、「何を教えてもらったか」「何を教えてほしかったか」といった仕事上の悩みについて一緒に考えたり、食事会や飲み会に誘ったりするなどして、新人保育士が職場の中で一人にならないよう寄り添うことを役割としています。

「職員の声」欄の西尾先生のお話からも、この制度が良い効果を生んでいることが分かります。堀江先生が理念とする『保育を継承していく』上で欠かせない取り組みの一つと言えるでしょう。

たちばな保育園での取り組み紹介③「外部講師による充実した研修の実施」

たちばな保育園では、外部講師（現在は3名）を招いて行う職員研修会を、2カ月に1回の頻度で開催しています。開催時間を時間外（18:30～）としていることもあり、以前は正規職員のみをその対象としていましたが、5年ほど前から正規職員以外の方も任意で参加が可能としたところ、多くの職員が参加するようになり、現在でも高い参加率を維持しているとのこと。

「保育はチームで行うもの。各職員が持つプロとしての意識をくすぐったことが、やる気につながったのだと思います。」と堀江先生は話します。専門性を求められる専門職としてのプライドから生まれる、スキルアップに対する潜在的なニーズを上手く掘り起し、保育の質の向上につなげた好例といえるでしょう。

☆職員の声☆



高見 由利子先生

- ・保育士歴は11年目。
- ・1歳児を担当。
- ・2歳と0歳の子どもがいます。

勤務時間内にも研修が確保してあるため、子育て中でも自然に仕事に対する情熱を高めていくことができます。

また、20代から60代までの幅広い世代に囲まれ、子育てや保育の相談も互いに話しやすく、アットホームに働ける職場です。



西尾 絢子先生

- ・保育士歴は5年目。
- ・2歳児を担当。

保育で悩んだ時に丁寧に教えてくれる先輩の存在は大きく、いつでもたわいもない会話ができ、楽しい時間が本当に心地よく、ここまで5年間続けてことができました！

また、年に4日間連休を取ることができる「リフレッシュ休暇」は、気分転換するのにとても役に立っています！

♪ 保育っていいな ♪ ～日々の1コマより～

見て、触れて、感じて…五感をフルに使って遊びながら子どもたちは育っていきます。

保育士はその育ちを保障し、貴重なひと時と一緒に楽しく過ごすことができ、毎日笑い声が絶えません。

